



2020(令和2)年度
厚木秦野道路建設事業に伴う発掘調査

かみなりまついせき

神成松遺跡第8地点

見学会資料

主催 公益財団法人 かながわ考古学財団
共催 伊勢原市教育委員会

神成松遺跡は、神奈川県伊勢原市の北西部、上粕屋字立原・字神成松に所在します。

遺跡周辺は関東平野の西に聳える名峰大山に続く台地で、隣接する石倉中遺跡をはじめとする多くの遺跡に各時代の人々の営みが埋もれています。

この地に一般国道246号(厚木秦野道路)が建設されることになり、当財団が2013(平成25)年度以降、発掘調査を続けています。

その結果、旧石器時代から近世にいたる各時代の遺構や遺物が発見されました。中でも、

縄文時代早期：落とし穴

縄文時代中期～後期：竪穴住居 集石

弥生時代：落とし穴

弥生時代後期～古墳時代前期：竪穴住居

奈良時代～平安時代：円形土坑 溝

鎌倉時代～室町時代：掘立柱建物

江戸時代：^{うね}道

が主要な調査成果です。

それらの中から今回の現地見学会では、調査範囲の北東部にあたる8区において、主に**弥生時代の竪穴住居**と**中世の掘立柱建物**を見学していただきます。



「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」

弥生時代の竪穴住居

竪穴住居とは、地面を掘りくぼめ、その内側に柱を立て、その上に傾斜した屋根を組むものが一般的です。

旧石器時代から、地域によっては室町時代まで作られました。

弥生時代には、平面が円形や隅が丸い方形のものが多く、内部には柱穴の他に炉、壁際の溝、ベッド状の高まりやなどもみられます。

当遺跡では、焼けた住居も見つかりました。床面に炭化木材や焼土が残っているため、屋根や壁の構造などを知る手掛かりとなります。

焼けた理由としては、失火や放火だけではなく、戦いに巻き込まれた、儀礼的な家送り、といった説もあります。



炭化材・焼土出土状況



完掘状況

中世の掘立柱建物

掘立柱建物とは、地面に掘った穴に柱を立て、その間に壁を作り、さらに屋根を乗せたものです。

縄文時代前期から、用途によっては現代まで営まれています。

当遺跡の中世の建物群は溝に囲まれた範囲内にあります。古代(奈良～平安時代)までは壁を構成する側柱建物が主流でしたが、当遺跡のように中世(鎌倉～室町時代)になると、建物内部にも柱をもつ総柱建物が増えてきます。

多くの柱穴を調査し、それらの配列を検討した結果、^{もや}母屋の周囲の^{ひさし}庇の存在や、建物が複数回建替えられたこともわかってきました。

大山



産業能率大学

石倉中遺跡

神成松遺跡第8地点

東名高速道路

南東上空からみた神成松遺跡とその周辺



2020(令和2)年度
厚木秦野道路建設事業に伴う発掘調査

神成松遺跡第8地点見学会資料

2021(令和3)年1月9日(土)

主催 公益財団法人 かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市中区中村町3-191-1

Tel:045-252-8689 HP: <https://kaf.or.jp>

共催 伊勢原市教育委員会

情報満載 見てね!

神成松遺跡第8地点 8区とその周辺調査区

～弥生時代の竪穴住居と中世の掘立柱建物～



※天日丸は、今回の調査で発見された遺構や遺物のおおよその時期を示したものです。
※この内容は調査段階のものであり、今後の調査成果や出土品整理などにより評価を変える場合があります。

中世の掘立柱建物群を囲む溝

部分的な調査ですが、幅約2.5～3.5m、深さ約1.5mの、整った形の溝です。南西の角はほぼ直角に曲がっています。



弥生時代の竪穴住居の調査状況

弥生時代
竪穴住居
ゾーン

中世
掘立柱建物
ゾーン

掘立柱建物群

竪穴状遺構

埴輪跡

8区

0 20m

調査済

弥生時代の集落

住居や作業場としての竪穴建物の他に、倉庫的機能をもつ掘立柱建物などが伴うこともあります。竪穴住居の時期決定とともに、それ以外の遺構の確認も発掘調査では必要です。

Point2 複合遺跡とは

神成松遺跡のように、同じ場所に複数の時代や種類の遺構が重なっているものを複合遺跡といいます。単一の時代や種類のみは単純遺跡です。

Point1 遺跡とは

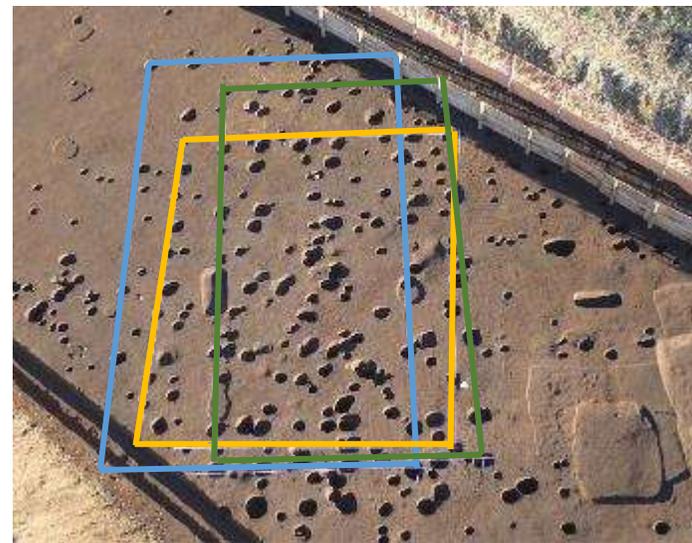
遺跡とは、過去の人間の営みのあとが残る空間です。遺構（大地に作りつけられたもの）と遺物（持ち運べるもの）でできています。



中世の竪穴状遺構(東から)

溝に囲まれた掘立柱建物群

柱穴の配置・規模・深さ・埋土・出土遺物などを検討し、建替えられた複数の建物を認定しました。いずれも周囲の溝と大きく方位がずれるものではなく、比較的長期間の営みが想定できます。溝の存在とそれに囲まれた建物群のセットは「**方形館**」と呼ばれ、武士の屋敷とも推定されます。



中世の掘立柱建物群検出状況(西から)